

# 希望の鐘

第138号 平成30年3月15日

祝 全国大会出場 駅伝チーム  
第31回 山形県中学校男子駅伝競走大会 優勝

祝 第32回 東北中学校男子駅伝競走大会 優勝

山形市立第一中学校



才能よりねばり強さ







広報部編集会議の様子

# 2017年度 PTA活動

## 「つながり力」

### ～一年間を振り返って～

#### 一年を振り返って

PTA会長 武田 宣行

今年度会長を引き受けてから一年が過ぎようとしています。「少しでも子どもたちの成長の力になれたら」という思いを持って活動を展開してきました。この間、会員、役員の皆様には、様々な場面で大変お世話になりました。多くの皆様のご協力をいただき、何とか大役を果たすことができました。何とかが大役を果たすことができたと思っております。

今年度は三十年七月に行われ、山形市PTA研修大会に向け、活動テーマを「つながり力」とし、小学校の会長はじめ役員の方や先生方と様々な打合せを重ねてきました。また各事業におきましても専門部を中心にいろいろな運動・校内整備活動・もったいない運動・読み聞かせ・球技大会・広報「希望の鐘」等を通じ、学校と家庭と地域・親子のつながりを大切に考えてきました。様々な活動を通じて一人ではできないことをみんなで実現する力や、絆をつくる力は本当に大切であると改めて感じました。一年でもあります。

また、PTA活動を通じて、一中学生のさわやかな笑顔に触れる度に逆に元気をいただき、子どもたちの成長を実感することもできました。自分自身も、PTA活動を通じて、多くの得難い経験をさせていただいたことに感謝しております。

子どもに関する今日的な課題はますます難しくなってきました。同じ世代の子どもを持つ親同士が課題を共有し、力を合わせていくことが大切になっていきます。これからも、保護者同士のつながりを大切にしながら、山形一中のますますの発展と、限りなく可能性を秘めた元氣な一中学生が大きく羽ばたき、活躍することを切に願っております。

#### 広報部

中村 真

広報部では一三六号〜一三八号の「希望の鐘」を発行いたしました。記事の隅々まで気を配りながら夜遅くまで作業して下さった役員の皆様のおかげで、各号とも温かい内容にすることができたのではないかと思います。そして、いつも私たちを支えながら良き導きを示して下さった先生方には心から感謝の気持ちでいっぱい입니다。「希望の鐘」は、子供たちの成長の様子を各家庭に伝えるとともに、記録紙としても重要な一面を持っていると思います。今後も、広報部がより豊かな恵みのある活動となりましますように祈念致します。

#### 文化部

小松 華奈

本年度文化部では、母親委員会との共催で九月と二月にもつたないない運動販売会、十月には給食試食会、十二月には読み語り会を行いました。

もったいない運動では、制服等物品の提供を呼び掛けるポスターの掲示をお願いや、提供して頂いた物品を販売会に向けて整える作業を母親委員会、文化部全員で協力することができ、販売会当日は多くの保護者の方に利用して頂きました。

無事各行事を終えられましたのも、各役員の皆様、先生方、物品を提供して下さいましたご家庭の方々のご協力のお陰です。一年間ありがとうございました。

#### 保体部

鈴木 篤志

保体部活動にご協力を賜りありがとうございます。会員の皆様、保体部員のおかげで親善球技大会・ソフトボール愛好会・保健委員会等の活動を無事に行うことができました。また、球技大会では先生方、各学年保護者で体を動かして汗を流し、時には笑いありの笑顔あふれる大会でした。

保健委員会では給食での残量調査の結果が残り量が少ないなどの報告があり一中学生の成長を喜び感じる事ができました。保体部長として良い経験が出来、ありがとうございます。

#### 生活指導部

鍵水 信也

今年度一年間生活指導部の活動をして、登校時の交通安全あいつ運動を年三回、夏休み中の街頭指導として花笠祭りの時にパトロールを第八地区青少年指導委員の方々巡回等を行いました。

保護者としてPTA活動に携わらせていただき、特に朝のあいさつ運動に参加し、皆、元気な笑顔と明るい声であいつを返してくれる事に驚きました。また保護者の方々とも学校の事、子育ての事等意見を交換する機会も出来、私自身活動に少しも協力出来たことを幸いに思います。御協力頂いた先生方、部員と地域の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

#### 整美部

村山 潤子

五月の花壇整備に始まり、八月の敷地内整備、十二月の校内整備の計三回事業を行いました。休日の早朝からの活動にも関わらず、ボランティアとして参加してくれた生徒の皆様、役員の皆様、先生方、ご協力ありがとうございました。また、技能技師の先生方のお陰でスムーズに活動がすすんだこと、心より感謝いたします。

お世話になった一中への恩返しできれば、と引き受けた役でした。生徒たちの真剣に草取りをする姿やテキパキ動きワックスを落とす姿、時折り見せてくれる笑顔。貴重で有意義な時間を送ることができました。一年間、ありがとうございました。

#### 母親委員会

安達 桂

「楽しい、そして勉強になる。」母親委員会の活動を振り返っての正直な感想です。

制服のリサイクル販売では、値札つけなどの作業を、皆さんてきぱきとやってくれました。お客様とのやりとりが楽しかったです。

読み語りでは語り手を集めるのに時間はかかりましたが、本に込められた思いが、子ども達の心に届いたのだと思います。皆さん会報「マザーズねっ? わーく」は御覧頂けましたか? なるほど!と思う情報がありました。是非お読みください。おもしろくてタメになる機会を頂き、「感謝」の一言です!

#### 一学年

押切 剛伸

一学年PTAの活動について報告致します。一学年のPTA活動は四月八日の入学式に始まり一週間後の学年部会を経て、初めての学年懇親会を六月二日に開催しました。四十名を超える方々に参加頂き懇親を深めることが出来ました。六月二十五日の親善球技大会では多数の方々に参加頂き、特に我が一学年はソフトボールにおいて女性ピッチャー二名が大活躍しました。結果はバレー、ソフトも三位でしたが、来年は一位目指して頑張りたいと思います。来年度は職場体験等、新しい行事も始まります。その子供達をしっかりとサポートしていきたいと思っております。

#### 二学年

深瀬 俊路

銀河学年は、進級に伴い、これまでの受動的な姿勢から一転して、積極的な前向きさが目立つようになつたと感じられます。クラス替えは、一的生活中に「慣れ」でも「狎れ」に陥らない、入学時の「初心」を呼び覚ます効果があったといえます。

来年度は、最上級生として、学業や部活動、そして、生徒会等さまざまな分野において第一線に立つこととなります。

彼らの「らしさ」と笑顔に磨きがかかり輝きが増すように、学校と連携のもと、私たち第二学年保護者会は、引き続き、弛みないサポートを惜しまない所存です。

#### 三学年

木島 秀之

皆様のご協力のおかげで、無事に学年部長の職を務めることができました。支えてくださった皆様、先生方に感謝いたします。

平成二十四年に長男が入学してから六年間、ずっとPTAの役員として学校に携わり、子供たちの成長を間近で見ることができ、充実した時間を過ごすことができました。

また、役員をさせて頂いたこと、先生方や保護者の皆様との交流を深めることができ嬉しく思っております。ありがとうございます。

#### 副会長 教頭

町田 真裕

今年度、武田宣行会長を中心に「つながり力」のテーマで、学校教育活動にご支援とご協力をいただき、会員・役員の皆様、心より感謝申し上げます。

数々の事業における保護者の皆様のご協力、たく姿に学校に対する期待の大きさと、そこにある責任の重さを改めて感じるところです。

子どもは大人の姿や振る舞いを見て育っていきます。そして、その子どもたちの成長が地域の未来を担っていきます。

皆様には、今後も一中学生の健全な成長のためにいつまでも見守っていただく、「つながり」をお願い致します。

### 第2回

## もったいない運動

文化部・母親委員会 共催

2月1日(木)、小中交流会の際に実施しました。(他の中学校から見学の依頼もありました) 第1回の収益金と合わせて、授業で使用する国語辞典と英和辞典を購入しました。



## 読み語りボランティア

読み語りボランティアの皆様本当にありがとうございました。

学年	組	名前	読み
第1学年	1組	今野 雅世	ストライプたいへん!しまもようになっちゃった
	2組	荒井 理子	さかなのなみだ
	3組	加藤 則子	手紙 ~最愛なる子供たちへ~
	4組	佐久間 みゆき	いのちをいただく
	5組	藤田 亜希子	10代の君たちへ 自分を育てるのは
第2学年	1組	菅原 智美	もりとくさはらにあつたおはなし
	2組	木村 敬子	ぼくができること
	3組	菊地 喜美子	かぜのでんわ
	4組	小松 華奈	母と暮せば
	5組	黒木 奈恵	じぶんの木
第3学年	1組	有海 真紀	ほお...ここがちきゅうのほいくえんか それ、どこで覚えたの?
	2組	無着 早智子	きみの行く道
	3組	村山 恵美子	オーロラの向こうに
	4組	松田 早季	へいわってどんなこと
	5組	神谷 浩平	サアカスの馬
ひまわり	神谷 葉子	わすれたって、いいんだよ	

敬称略







1組



2組



3組



4組



5組

# あすなる学年 卒業おめでとう



## ジャンプ! JUMP 3学年



これから人生の荒波に挑んでいく「あすなる学年」の皆さんへ言葉を贈ります。

成功っていうのは  
追い求めるものじゃない  
それはたゆまぬ努力を  
積み重ねていくものなんだ  
そうすれば  
成功は思いがけない時に  
必ずやって来る  
努力して  
後悔した人を見たことがない  
練習して  
下手になる人もいない  
勉強して  
馬鹿になる人もいない  
何かをして  
変わった人はいても  
何もしないで  
変わった人はいない

ご卒業おめでとうございます。  
3学年主任 植松 哲也

### 「若き日に薔薇の花を摘め」

スペンサーの詩『薔薇の歌』の一節です。薔薇には刺があってそれを素手で摘もうとする指をさされてケガをすることがあります。しかし、それを恐れているだけでは、美しい薔薇の花を手にすることはできませんし、摘もうかどうかためらっているうちに年を取り、そのチャンスを失ってしまいます。また、若いときというものはケガをしたとしても、それをすぐに治してしまえるだけの力が備わっています。それは、体の組織が活発に活動しているからです。

若い時というものは二度きません。けがを恐れず、今しかできないことに、何度でもどんどん挑戦してほしいと思います。

卒業して、大きくはばたく皆さんの、これからの人生を、精一杯応援しています。

卒業生の皆さん、保護者の皆様、本当におめでとうございます。  
3学年副主任 伊藤 美智子

## 2学年 ステップ! STEP



## 1学年 ホップ! HOP



# 雪はきボランティア

地域の一人暮らしのお年寄りのお宅を訪問し、地域の一人として自分にできるボランティアを実践し、心の交流を通して、思いやりの心を育む。



ボランティアの意味  
二年 黒澤 優斗

私が登校するときに、近所で雪はきをしているお年寄りの方々を見て、いつも大変そうだったので、やすらぎ荘での雪はきボランティアに参加しました。今回のボランティアで、仲間と協力することの大切さと自分から積極的に働くことの大切さを学びました。雪はきはとも大変で疲れました。しかし、雪はきをした後、美しくなった場所を見たり、「ありがとう」と感謝の言葉を言われたりすると、達成感や喜びで疲れがなくなりそうです。今回の雪はきボランティアは、とても大切なことを教えてもらえた機会でした。



雪はきボランティア  
一年 三浦 真奈

私達は、緑町のお婆さんの家を手伝いに行きました。物置きの前にたまっている雪を片づけるだけでしたが、喜んでくださいました。雪はきの後はコーヒート、お菓子をこちそうしてください、お婆さんとお話をしました。お話の中で、雪はきボランティアは昔からある伝統行事であることを教えていただきました。そのお話を聞き、一中を誇りに思いました。この雪はきボランティアで、地域に貢献でき、うれしく思いました。そして、この雪はきボランティアの伝統が続くよう、来年も頑張ります。

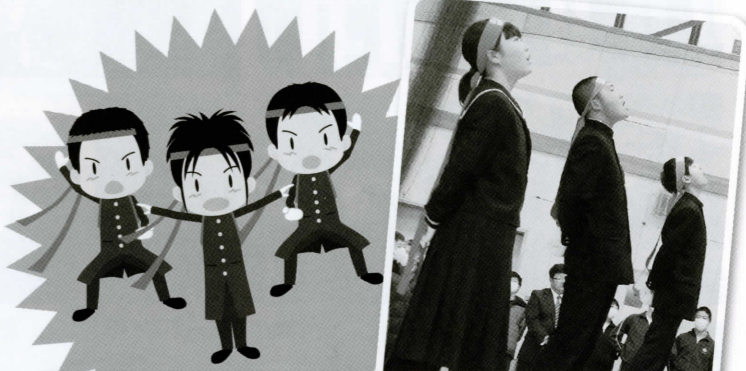
# 3年生を励ます会

受験に向けて  
三年 柏倉 陽生

先日は三年生を励ます会を開いていただき、ありがとうございました。受験に向かう私たちに大きな力を与えてくれました。私たちは今、受験という壁に向かい、一人一人が本気で勉強しています。その中で、二年生の励ましの言葉や、何気ない所での気配りなどが心の支えとなっています。そんな全校生の思いを胸に、悔いの残らないよう、みなさんの思いに答えられるよう、全力で入試日まで努力していきます。卒業まで、二年生の手本となり、よりよい伝統を伝えていきたいと思っています。

応援団団長  
二年 榎 本 拓海

一月十七日に三年生を励ます会がありました。生徒会長による激励の言葉と激励品の贈呈では、一年生からはお守り、二年生からは絵馬が贈呈されました。激励応援は、三年生を元気づけるために新しい応援を取り入れ、盛り上がりのある応援となりました。三年生のお礼の言葉では、「これから、二年生が一中のリーダーとして引っ張っていかないといけない。」という重要な話をいただきました。受験は団体戦です。一人ではありません。つらい時こそ仲間と助け合い、受験当日は最後の仲間まであきらめず頑張ってください。一中生全員が応援しています。



# 山形市小中 書き初め展

総合文化部制作の合格だるま

- 書き初め展受賞者名 (★は金賞)
- ★ 奥山 幹太 清野 真愛
  - ★ 後藤 祐香 千葉 映雅
  - ★ 進藤 光介 小野 積々良
  - ★ 吉田 万桜 田中 結菜
  - ★ 高橋 翔田 田中 理沙
  - ★ 青木 依依 渡辺 菜音
  - ★ 佐伯 心優 栗田 涼香
  - ★ 張崎 馨子 秋山 花乃
  - ★ 鈴木 華遠 藤美空
  - ★ 板垣 愛華



# 小中交流会



「ようこそ一中へ」  
「中学校」という大人びた響きが彼らを不安にさせています。彼らにとつてこれからの全てが「初めて」です。今の私達に出来ることがあるとすれば、あたたかく迎え入れる準備をすることです。この会しだいで第一中学校の印象は変わってくると思います。だから、私達はここにいらっしゃる皆さんに安心感や希望を持たせなくてはならないと思います、この会に臨みました。当日の交流会は最高でした。安堵したような表情で一中から帰っていく光景が見られました。四月にもあたたかく迎え入れる準備をします。新入生がちょつと大人びた姿で一中にやってくるのが待ち遠しい気持ちです。

二年 小野 積々良





吉田 勝彦 校長先生

文部科学大臣

教育者表彰受賞

おめでとうございます



受賞日 平成29年12月5日

教えを胸に

三年 奥山 幹太

校長先生は、この三年間、私たちに多くのことを教えていただきました。その中でも、特に私の心に残っているのは、「差異を受け入れる」というお話です。

私たちには、一人一人に違った個性があります。得意なこと、苦手なこと、人それぞれで違います。その差異を受け入れ、ひとりぼっちをつくらない。このことは本当の自由の出発点だと思います。

私たちは、この「差異を受け入れる」という言葉を胸に、居心地のよい環境づくりに一

中生一丸となつて取り組んできました。そして、校長先生は、いつも私たちのそばにいて、温かく声をかけてくださいました。

廊下ですれ違ったときには、笑顔で挨拶をしてくださり、部活動やFF体育祭、合唱コンクール、駅伝のときにも励ましやアドバイスをしてくださいます。私たちはその声を聞くたびに「もっと頑張ろう」と力が湧いてきました。校長先生の一言一言が、一中学の活力になり、一中に元気と安心を与えてくださいました。だから、私たちは大きく成長することができたのだと感じています。



校長先生は、人として大切な心や姿勢をいつも私たちに示してくださいました。その教えをこれからも心に留めて、日々前進していきます。校長先生、ありがとうございます。

後期生徒会長として

二年 佐藤 修人

私は「自分のいる環境を大切に、挑戦し続ける一中生徒会」を目標に、一中生全員が思いやりを持ち自主的に行動ができることを目指します。そのためにボランティア活動や、思いやりを意識した振り返り活動に取り組んでいます。

一人一人が進んで活動できる生徒会を創りあげるため、会長として精一杯がんばります。

生徒会新体制決定



後期生徒会 役員名簿

会長	佐藤 修人
副会長	佐藤 悠星
副会長	縮 穂乃花
事務局次長	小野積々良
事務局次長	朝倉 巧翔
事務局次長	西谷 理恵
応援団団長	榎本 拓海
応援団副団長	菊池 優希
生活委員長	菊地 日和
学芸委員長	黒澤 優斗
報道委員長	千葉 映雅
保健委員長	和田 正之
給食委員長	櫻井 孝人
整美委員長	佐藤 優希
評議員長	岡崎 敦也
評議員長	松本眞之介
事務局員	黒木 七海
事務局員	本田祥太郎
事務局員	黒木 涼香
事務局員	長澤 遼
事務局員	吉田 壮太
事務局員	三浦 真奈
事務局員	横川 夏美

編集委員

- 中村 真
- 奥山 敦
- 山本 伸司
- 吉田 哲也
- 木村 和子
- 櫻井 秀憲
- 齋藤ひとみ

校長 吉田勝彦  
 発行 山形市立第一中学校PTA  
 編集 PTA広報部  
 印刷 大風印刷